

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 6 月 1 日(2022.6.1)

【公開番号】特開 2022-17257(P2022-17257A)

【公開日】令和 4 年 1 月 25 日(2022.1.25)

【年通号数】公開公報(特許)2022-013

【出願番号】特願 2021-164230(P2021-164230)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30(2006.01)

H 0 1 L 51/50(2006.01)

H 0 5 B 33/02(2006.01)

H 0 1 L 27/32(2006.01)

G 0 2 F 1/1335(2006.01)

G 0 9 F 9/00(2006.01)

10

【F I】

G 0 2 B 5/30

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/02

H 0 1 L 27/32

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

G 0 9 F 9/00 3 0 4 A

G 0 9 F 9/00 3 1 3

20

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 24 日(2022.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

30

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光子と保護フィルムと粘着剤層とを有する偏光板であって、

前記保護フィルムの、前記偏光子の透過軸方向と平行な方向における、85 相対湿度 5 %の条件下で 1 時間経過後の寸法変化率を、保護フィルムの寸法変化率(85)とし、
前記保護フィルムの、前記偏光子の透過軸方向と平行な方向における、30 相対湿度 9 5 %の条件下で 0 . 5 時間経過後の寸法変化率を、保護フィルムの寸法変化率(30)
としたときに、

前記保護フィルムの寸法変化率(85)と前記保護フィルムの寸法変化率(30)との差の絶対値が 0 . 0 2 ~ 0 . 5 0 であり、

40

前記粘着剤層の 2 3 における貯蔵弾性率が、0 . 0 1 M P a ~ 1 M P a である、
偏光板。

【請求項 2】

前記偏光子の透過軸方向における、85 相対湿度 5 %の条件下で 1 時間経過後の寸法変化率を、偏光子の寸法変化率(85)とし、

前記偏光子の透過軸方向における、30 相対湿度 9 5 %の条件下で 0 . 5 時間経過後の寸法変化率を、偏光子の寸法変化率(30)とし、

前記偏光子の寸法変化率(85)と前記偏光子の寸法変化率(30)との差の絶対値を F P Z とし、

50

前記保護フィルムの寸法変化率（ 8.5% ）と前記保護フィルムの寸法変化率（ 3.0% ）との差の絶対値を F_{PF} とし、

前記 F_{PZ} から前記 F_{PF} を差し引いた差を F_{TD} とし、および

F_{TD} の F_{PZ} に対する割合（ F_{TD} / F_{PZ} ）が $0.5 \sim 0.95$ の範囲である、請求項 1 に記載の偏光板。

【請求項 3】

前記偏光子と前記保護フィルムと前記粘着剤層とがこの順で配置されている、請求項 1 または 2 に記載の偏光板。

【請求項 4】

前記保護フィルムと前記偏光子と前記粘着剤層とがこの順で配置されている、請求項 1 または 2 に記載の偏光板。 10

【請求項 5】

前記保護フィルムは、セルロースエステル系樹脂；ポリエステル系樹脂；ポリカーボネート系樹脂；（メタ）アクリル系樹脂；またはこれらの少なくとも 2 種以上の混合物から構成される透明樹脂フィルムである、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の偏光板。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の偏光板が、前記粘着剤層を介して液晶セルに積層された、液晶表示装置。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の偏光板が、前記粘着剤層を介して有機エレクトロルミネッセンスディスプレイに積層された、有機エレクトロルミネッセンス表示装置。 20

30

40

50